

鬼の館

北上市立

だより

2025(R7).3
第62号



今年の館は開館30周年を迎えました。これを記念し、多くの事業を開催して皆さまにお祝いしていただきました。ありがとうございました。

鬼の館令和6年度下半期をふりかえって

福豆鬼節分会～幽玄と闊達～



福豆鬼節分会は「鬼剣舞発祥の地」にちなんだ節分行事で、節分で全国から追いやられた鬼を迎え入れ厄を払い福の神に転じさせようという趣旨で始まりました。鬼の館が開館した時から実施されており、当時は岩崎鬼剣舞保存会を中心に行われていました。現在は、岩崎地区青年会虹色の会”絆“、岩崎地区自治振興協議会、そして鬼の館で構成される福豆鬼節分会実行委員会が中心となり開催しています。コロナ禍で、縮小や中止もありましたが、昨年度4年ぶりに完全復活し、今年度は開館30周年記念の節分会ということもあり、5488名もの方に御来場いただきました。郷土芸能ステージや「大声コンテスト」、「寸止め！鬼海峡！チキンレース」など岩崎地区人気のゲームで激しく躍動し、恒例行事である「みんなで食べよう！恵方巻」では350人の人がステージ上で静止し、同じ方角を見ながら静かに恵方巻を食べる姿は圧巻で、かつて作家鈴木彦次郎氏が鬼剣舞を評した「幽玄と闊達」を感じさせるものでした。

新春大乗

神楽大乗宿舞



2月9日に北上大乗神楽保存会連絡協議会の主催による新春大乗神楽公演を開催しました。例年は1月上旬に開催しますが、ほかの行事と重ならないスケジュールを調整した結果、旧正月に近い2月上旬に開催することとなり、7団体による12演目が披露されました。また、新型コロナウイルス感染拡大前まで行われていた餅まきが今回は復活し、一段と賑やかな公演となりました。

鬼学講座

2月22日（土）に開催した1回目は、昨年引き続き建築装飾技術史研究所の窪寺茂所長を講師として迎え、「津軽地方における「鳥居の鬼コ」と鳥居初源考」と題して、津軽の鬼コの事例や、中国にも日本の鳥居に類似する華表（かひょう）という建築物があることなどについてご講演頂きました。



2回目の3月8日（土）は、佛教大学総合研究所特別研究員で鬼の館協議会委員を務められている中嶋奈津子様「供養と芸能」について、中国の「鬼」が日本に与えた影響に触れながら民俗芸能の起源や分類等のご講演を頂きました。

アジア圏まで範囲を広げて日本文化の成り立ちや変遷を考察することが大事であることを改めて考えさせられる2回の講義内容でした。

鬼剣舞ちょこっと体験

北上市の民俗芸能である鬼剣舞をたくさんの方々に体験していただくことを目的に開催しております鬼剣舞ちょこっと体験を冬季も2月16日（日）と3月9日（日）に開催しました。

近頃は、子どもたちはもちろん、大人の参加者も増えて参りましたので、誰が講師かすぐ分かるように今回から講師の方々には鬼の館ロゴマーク入りビブスを着けてご指導いただきました。

前回は参加された方に、このビブスについてご意見をお伺いしたところ、「講師の方が目立っていて夏の体験会より分かりやすかった!」「ビブスが紅白色で鬼剣舞に合っている。」「デザインがカッコいい!売ってほしい!」等々のご意見を頂戴しました。

今後も、鬼の館では、お客様や関係各位のご意見を幅広くお聞きし、イベント等の改善に努めて参ります。

冬季ワークショップ



今年度も冬季工作ワークショップを開催しました。12月21日は、鬼の館ならではの「鬼剣舞和紙お面づくり」を実施しました。型に和紙を貼り重ね、張り子のお面から作成し色を塗る「全行程の部」と、あらかじめ用意してお面に色を塗る「色塗りの部」に分けて実施しました。午前中から作業に取りかかる「全行程の部」には5名が参加してくれました。鬼剣舞のお面の型は彫りが深いため和紙を貼り付けることが難しく、苦戦する様子も見られましたが上手に仕上げることができました。午後は「色塗りの部」の参加者5名と一緒にお面を仕上げました。長い時間でしたが、みなさん集中して取り組んでいました。

1月13日は、「ミニ張り子面狐・猫」を開催しました。特に狐面は、狐剣舞があるため要望も多くあったものです。張り子面に絵付けをして、オリジナルの面づくりをしました。親子で楽しみながら仕上げていました。冬休みのよい思い出となりました。



鬼の館 30 周年を振り返る

鬼の館館長 後藤幸生

皆様、今年度は開館 30 周年記念行事に多大なるご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。当館が 30 年も愛され続け、親しまれてきたことは、ひとえに観覧者、関係団体及び地域の皆様のご支援とご愛顧のお陰でございます。この節目を迎えられたことに、心より感謝申し上げます。

さて、30 周年の記念の年に初代門屋館長に関する素敵な縁について話させていただきます。1 つ目は、昨年の記念シンポジウムでお世話になった福知山市の鬼の交流博物館（H5 開館）の現館長の村上誠さまのお父様の村上政市名誉館長についてであります。門屋館長と政市名誉館長は、同時期に鬼に関する博物館を建設する仲間として、どのようなコンセプトでどんなものを展示していくかを、手紙を通してお互いに議論していたということです。当然今のようにメールも無い時代に、建設に対する思いや不安などを筆にぶつけ、お互いを信頼し、同志となっていたお二人の姿が目には浮かび、そして世界で唯一無二の博物館をお互いの地域に建設させたいというお二人の熱量が今でも伝わってくるのを感じました。

2 つ目は、今年 2 月の福豆節分会の及川拓哉実行委員長についてです。この福豆節分会は開館当時から地域と協力して実施しており、当館の重要なイベントの一つとして位置付けております。昨年から実行委員長になっている及川さんが大学生の時、門屋館長から授業を受けていたことです。また、門屋館長が大学で教える最後の時期の学生だったということでした。大人になって、立派な姿で実行委員長として戻ってきた及川さんのお姿は、門屋先生も大変喜んでいただいていたのではないのでしょうか。

このように門屋先生が紡いだ縁によって、開館から 30 周年の間たくさんの方々からご支援いただけてきたと考えております。このつながりを大切に、これからも鬼の文化や伝統芸能の伝承を未来へ紡いでまいりたいと考えておりますし、多くの方々楽しんでいける場であり続けたいと考えております。今後とも「鬼の館」をどうぞよろしく申し上げます。

学芸ルームから

鬼の館開館 30 周年企画展

— 奥州舞草刀とみちのくの名刀 —

令和 6 年度後半の企画展は「奥州舞草刀とみちのくの名刀」と題して刀剣展を開催しました。

舞草（もくさ）刀とは、平安時代に日本で作られた刀の一種で、一関市に舞草という地名があることから、この地域を拠点に奥州藤原氏のお抱え刀工集団として刀を鍛えていたと考えられています。舞草の作刀技術は古くから評価が高く、鎌倉時代の古剣書「観智院本銘尽」にも鎌倉期までの名工 42 名のうち 8 名の舞草の刀工の名前が記されています。



本展は、舞草 2 振に加え、同じ系譜とされる宝壽 2 振と月山 2 振を中心に、名工として名高い「藤四郎吉光」など計 23 振を展示しました。当館で刀剣のみを展示する企画展・特別展の開催は初めてでしたが、期間中の入館者は合計 8,999 人と多くの刀剣ファンの皆様が登場し、ご好評頂けたことと感じております。

本展の開催に当たっては、刀剣の貸出や計測、解説文の執筆、展示方法や図録作成に関する監修など、奥州文庫の高橋勉様に多大なるご協力を賜りました。改めまして深く感謝申し上げます。

ご寄附いただきました！ 今年度、鬼の館へいただいた寄附を紹介します。

和賀ライオンズクラブさまのご寄附により、芸能公演用音響機材を新調しました。新しい設備によりさらにパワーアップした迫力の芸能公演をお楽しみ頂けるようになりました。

■ 芸能公演で活躍する音響機材



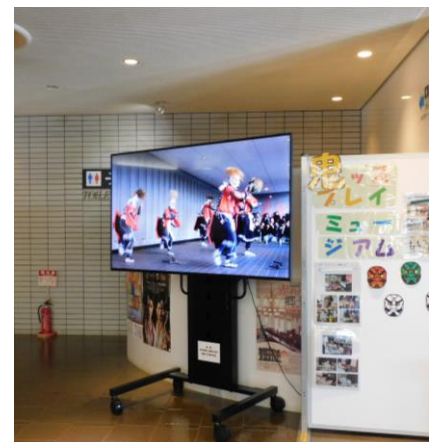
■ 人気の着衣体験用の鬼剣舞衣装



(株)岩手ヤクルト工場さまのご寄附により、子ども用鬼剣舞衣装2着を新調しました。新しく110cmサイズが加わり、サイズが豊富になりました。キッズの日の衣装体験に、より参加しやすくなりました。

(株)岩手建設工業さまより大型テレビとPCをご寄附いただきました。大型テレビはエントランスホールに設置し、今までの鬼剣舞公演を大型画面でお楽しみいただけるようになりました。

■ 鬼剣舞公演の映像を流す大型テレビ



ご寄附いただきました和賀ライオンズクラブさま、(株)岩手ヤクルト工場さま、(株)岩手建設工業さまに心より感謝申し上げます。

令和7年度 上半期事業のお知らせ

□ 企画展 特別展

- ・ 4月26日(土)～ 5月11日(日)第1期ギャラリー展
- ・ 5月24日(土)～ 6月 8日(日)第2期ギャラリー展
- ・ 6月28日(土)～ 7月13日(日)第3期ギャラリー展
- ・ 8月 4日(月)～10月26日(月)企画展
「鬼をつくる～澤藤範次郎張り子作品展～」

□ イベント

- ・ 5月 5日(月・祝) こどもの日わくわくイベント
- ・ 6月 第31回大乘神楽大会
- ・ 9月 6日(土) 逢魔が時ナイトミュージアム

□ 体験会・講座

- ・ 7～8月 夏季ワークショップ(※要申込)
- ・ 7～9月 鬼っ子わんぱく講座
「鬼剣舞ちょこっと体験会」

□ 芸能公演

- ・ 4月27日(日) 北藤根鬼剣舞
- ・ 5月 3日(土・祝) 黒沢尻鬼剣舞
- ・ 5月 6日(火・祝) 鬼柳鬼剣舞め組
- ・ 5月25日(日) 岩崎鬼剣舞
- ・ 6月29日(日) 黒岩鬼剣舞
- ・ 7月27日(日) □内鬼剣舞
- ・ 8月 2日(土) 岩崎鬼剣舞ほか
- ・ 8月13日(水) 岩崎鬼剣舞
- ・ 8月24日(日) 相去鬼剣舞
- ・ 9月28日(日) 二子鬼剣舞

※事業は急な中止や内容を変更する場合がございます。

退任のご挨拶 月曜アシスト 高橋洋子

平成29年4月から鬼の館に勤務して8年、平成から令和への移行、そして新型コロナウイルスの嵐と、激動の時期でした。鬼剣舞大好き、郷土芸能大好きな私が鬼の館で働くことができたこと、それはとてもラッキーなことでした。鬼、鬼剣舞、郷土芸能などについて発信している当館の事業に携わることができ、楽しく充実した日々でした。なかでも鬼剣舞体験「わんぱく講座」では、子供たちが一生懸命鬼剣舞に取り組む姿に感動しました。

これからも鬼の館が、多くの人達に愛されることを願っています。お世話になりました。



下半期事業報告

●開館30周年特別企画展

「酒吞童子展」 10,248 人
 8月3日(土)～10月20日(日)
 「舞草刀展」 8,999 人
 11月16日(土)～2月16日(日)

●芸能公演

10月6日 飯豊鬼剣舞少年団 観客 101 人
 谷地鬼剣舞 観客 136 人
 10月27日 鬼柳鬼剣舞 観客 165 人
 11月3日 滑田鬼剣舞 観客 192 人
 12月15日 岩崎鬼剣舞 観客 81 人

●鬼ッズ・プレイミュージアム

9月16日～3月16日
 和紙お面づくり 参加者 181 人
 鬼剣舞衣装を着る体験 参加者 2 人
 冬休みワークショップ
 12月21日 鬼剣舞和紙お面づくり 参加者 10 人
 1月13日 ちいさな和紙お面づくり 参加者 14 人

●鬼剣舞ちょこっと体験

2月16日(日) 参加者 61人
 3月9日(日) 参加者 75人

●福豆鬼節分会

2月2日(日) 参加者5,488人

●鬼学講座

第1回 2月22日(土)
 津軽地方における鳥居の鬼コと鳥居初源考 参加者 17人
 講師：窪寺 茂 氏 (建築装飾技術史研究所所長)
 第2回 3月8日(土)
 供養と芸能 参加者 23人
 講師：中嶋奈津子氏 (佛教大学総合研究所特別研究員)



利用案内

開館時間 午前9時から午後5時
 (入館は午後4時30分まで)
休館日 ・月曜日
 (月曜日が祝日等の場合はその翌日)
 ・館内整理日 (11月27日～11月30日)
 ・年末年始 (12月28日～1月4日)
 ・その他、臨時休館日あり
交通利用 ・JR北上駅より車で約20分
 ・東北自動車道「北上江釣子I.C.」秋田自動車道
 「北上西I.C.」よりともに車で約15分

観覧料

区分	個人	団体 (20名以上)	共通観覧券
一般	500円	400円	700円
高校生	240円	180円	300円
小中学生	170円	120円	200円

*未就学児は無料です。
 *共通観覧券は鬼の館のほか、北上市立博物館、北上市立利根山光人記念美術館でご利用いただけます。各施設1回ずつ観覧でき、有効期限は発効日より1年間です。
 *定住自立圏(北上市、奥州市、金ヶ崎町、西和賀町)に居住する小中学生は無料となります。
 *身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は無料となります。手帳をお持ちの方1名につき、付添の方1名も無料となります。
 *北上市消防団員は無料となります。団員1名につき同行者5名まで無料です。受付の際に、消防団員カードをご提示ください。

案内図



北上市立鬼の館だより

第 62 号 2025(R7).3.31
 編集・発行 北上市立鬼の館
 〒024-0321 北上市和賀町岩崎16地割131番地
 TEL 0197(73)8488 FAX 0197(73)8508

学芸ルームのかたすみで・・・

鬼の館に勤めて以来、ずっと中国語で鬼の館と鬼剣舞の演目を解説したいと思っておりました。ようやく今年度それが実現しました。台湾の団体の皆さんに中国語で日本の鬼文化を紹介しました。初めて知った台湾の皆さんが大変盛り上がった時は何よりとても嬉しかったです。(愛)